



SANSHIN GROUP

Monthly Report on the ESG

Jan.2026

INDEX

1. サンシングループ 経営理念
2. サンシングループ 経営ビジョン
3. 「徳のある商人」を育成するために
4. TOP MESSAGE
5. グループ社員による今月のつぶやき
6. ESG Report（品質）
7. ESG Report（環境）
8. ESG Report（地域貢献活動）

我々はお客様を愛し愛される 徳のある商人を目指し 世界の文化文明の発展に貢献する

● 経営ビジョン

お客様満足度の向上 / 利益ある成長・発展

● 代表挨拶

弊社は、さまざまなメーカーの電子部品を取り扱い、商社機能とメーカー機能を兼ね備える技術商社です。お客様のニーズに応じた最適な技術シーズを提供し、多様な提案を通じて、事業成功のお手伝いをさせていただきます。

「徳のある商人」であることを企業理念に掲げ、創業から60周年を迎えます。これからも変わらぬ価値を提供し続け、絶えず成長と発展を探求してまいります。引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 石井 宏宗

～「徳のある商人」を育成するために～



自身の経営貢献

- 経営理念から個人目標まで体系的に展開し、自身の企業貢献を明確化
- 自発的にチャレンジしやすい環境

経営参画

- 若手メンバーで中期経営計画作成プロジェクトを行い、新規事業や社会貢献をアイデア&ドリーム
- 週次/月次ミーティングで経営状況や方針の情報共有

キャリア

- 年齢・性別関係なく役職に抜擢され、キャリアを構築できる仕組み
- EIGYO育成プログラムによる一人一人の細やかな成長支援

知識・資格・学び

- 社内大学「サンシン大学」：経営・法務・営業・技術・品質管理・WEBマーケティング・生成AI・語学・健康などの講座をリアル/オンラインで開講（就業時間内、会社負担）
- 資格取得支援（簿記・TOEIC・ビジ法・QC検定・MBA/MOTなど）
- 工場見学、企業見学、研修会、YAMINABE会



働く環境

- 社員の働く環境の整備
 - ① 育児休業中の給与補助
 - ② 育児短時間勤務中も給与維持
 - ③ こども手当
 - ④ 介護にあたる社員への柔軟なサポート
 - ⑤ 在宅勤務・テレワーク対応
 - ⑥ 扶養家族のいる社員への人事評価加点
 - ⑦ 勤務間インターバル制度
 - ⑧ 時間単位の有給休暇取得制度
 - ⑨ メンタルヘルスの一環としてオンライン相談フォーム設置（匿名可）
- 「健康優良企業」「健康経営優良法人」等、外部認証の取得
- 副業兼業可能

ネットワーク

- 新入社員へのメンターによるサポート
- 入社後研修で東京・関西などの社員とのフラットな業務交流
- 社内交流会、懇親会の開催

TOP MESSAGE

香港で昨年末に発生した火災は、都市に暮らす私達にとって、あまりに身近で、あまりに静かな警鐘でした。

煙が立ち上るその瞬間、私達は、「安全とは何か」「備えとは何か」を改めて考えざるを得ませんでした。

火災は、都市の構造だけではなく、私達の働き方や意識のあり方にも問いを投げかけたように思います。避難経路は確保されているか、夜間勤務の人達は守られているか等。

それは制度ではなく人の気づきと関係性の中にあるものです。今回の火災を単なる事故として片付けるのではなく、都市の人との関係性を見直すキッカケとして私達自身の働き方や空間のあり方をもう一度見直していきたいと思います。

安全は、日々の行動と気づきの中にある。その事を私達は、忘れずにいたいと思います。

三新電気香港有限公司
代表取締役総経理 兼 C.O.O.
新井 晶

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHIN East

今年も地球は、文句を言わず静かに回り続けます。私たちは資源を使い、エネルギーに支えられながら日々の便利さを享受していますが、その足元には変わらず自然の力があります。だからこそ年始のこの機会に、少し立ち止まり、使い方や選び方を見直してみたいと思います。大きな理想も大事ですが、「昨日より少しだけ優しく」。そんな小さな意識の積み重ねを。
(Y.Y.)

SANSHIN Hong Kong

Invest in renewable energy or choose clean energy providers. Explore options like installing solar panels, or, where available, switch your energy provider to one that sources 100% of its power from clean energy, such as wind or solar. Upgrade to efficient home appliances. When replacing appliances, choose models with high Energy Star ratings. For example, consider a water heater that uses heat pump technology for significant energy savings. (V.K.)

CSI

1月18日（日曜日）。500年以上の歴史を持つ伝統的なキリスト教のお祭り「シヌログ」がセブ島で行われました。フィリピンでは他の地域でも、キリスト教のお祭りはありますが、その中でもシヌログ祭りは特に有名で、マニラなどフィリピン各地からシヌログ祭りのためにセブ島にきます。教会の守護聖人サントニーニョ（幼きイエスキリスト像）を讃えるお祭りです。（K.S.）

SANSHIN West

千葉県沿岸でトラフグバブルが話題になっています。去年はサンマが大漁となりましたが「食卓から消える魚」とまで言われていたサンマが一転して戻ってきたことに違和感を覚えました。気候変動の影響で魚が生息範囲を変えたり、特定の魚が突然大漁になったりする現象は、海の環境が不安定になり生態系のバランスが崩れつつあるサインと考えられます。目先の結果だけに目を向けるのではなく、その背景で何が起きているのかを考え対策することが、持続可能な社会や環境に繋がっていくのではないのでしょうか。（N.K.）

SHINKOWA

あけましておめでとうございます。今年は午年です、また、2026年は丙午で激動な1年になるかもしれません。自然や環境面でも急激な変化のないことを願いますが、地震や洪水、台風が多いことや猛暑・冷夏などと、新型ウイルスの流行などが歓迎できないことが起らないで欲しいです。日頃の備えを十分にしておきましょう。（M.N.）

SC2

【犬と暮らす】犬が人に与えてくれるものは、心の癒しだけではなく、犬と暮らすご家庭のお子さんは消化管の常在菌の一部が変化し、幸福度や社会性の向上がみられるそうです。他方、犬の飼育放棄や虐待が後を絶ちません。たくさんの幸せをくれる犬たちに、人が正しく報いる社会となりますように。（M.I.）

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

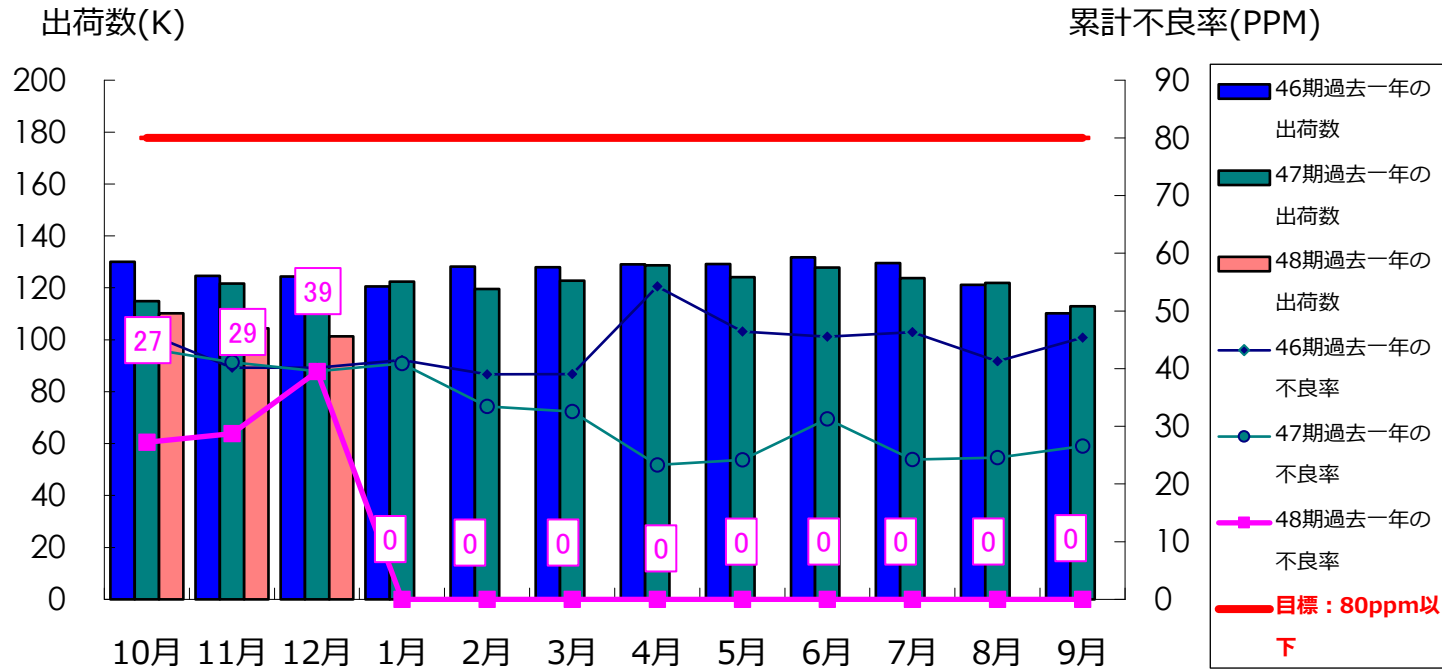
1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質状況

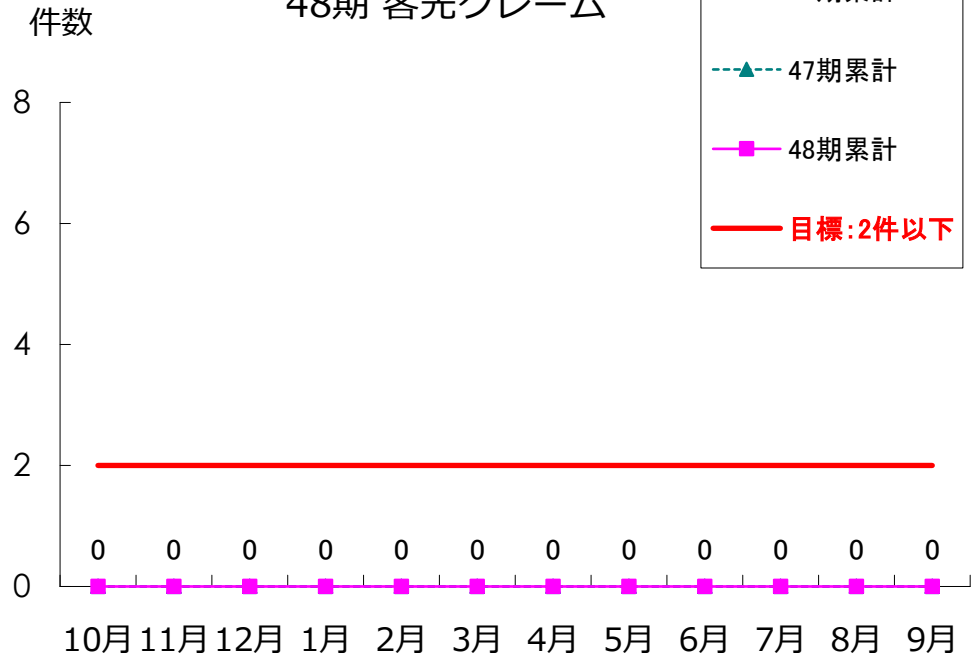
納入品不良率（目標：80ppm）
48期の累計不良率(解析依頼含む)：39ppm

客先クレーム（目標：2件以下）：0件

48期 市場不良率「ユニット製品」



48期 客先クレーム

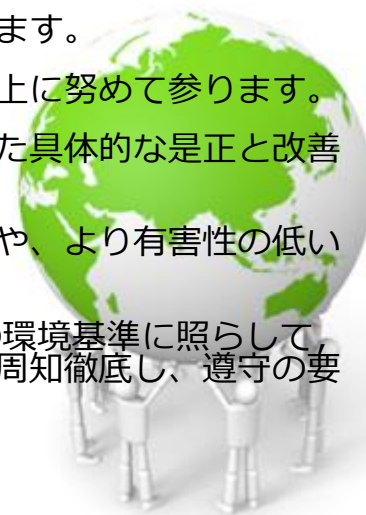


ESG Report (環境)

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。
7. 環境放出化学物質の管理環境中に放出されると害を及ぼすと特定された化学物質については、使用量の削減や、より有害性の低い物質への代替、漏洩の防止などにつとめてまいります。
8. 製品に含まれる有害物質を特定し、「RoHS」等の法規制および「JAMPガイドライン」などの業界と顧客の環境基準に照らして、非含有およびそのための管理体制を遵守します。また、サプライチェーン上流の取引先にもこれらの基準を周知徹底し、遵守の要請を行ってまいります。



TOPICS

□ 2026年 世界の環境カレンダー：注目の出来事

2026年は、国際条約の発効や改正法の施行が相次ぐ、環境規制の「実行元年」です。単なる目標ではなく、法的義務として動き出す主要なトピックスを解説します。

■ 1月

BBNJ協定（国連公海条約）の正式発効

2026年1月17日、歴史的な国際条約が発効しました。地球の表面積の約半分を占める「公海（どの国にも属さない海）」を保護するための初めての国際法です。20年越しの交渉を経て、国連で採択された「国家管轄権外区域の海洋生物多様性（BBNJ）協定」が、60カ国の批准を経て正式にスタートしました。これまでの公海は「自由」という名のもとに乱獲や汚染が放置されがちでしたが、今後は公海上に「海洋保護区（MPA）」を設置することが可能になり、公海での大規模事業には「環境影響評価」が義務付けられます。直接的には水産・海運・海底資源開発が対象ですが、間接的には「プラスチック流出防止」や「サプライチェーンの透明性」への要求が、世界的な海洋保護の機運とともに一段と高まることが予想されます

水俣条約による「蛍光灯」の製造・輸出入禁止

「水銀に関する水俣条約」の合意により、2026年末までに一般照明用蛍光灯の製造と輸出入が事実上終了します。水銀による環境汚染と健康被害を防ぐため、世界は完全に脱水銀へと舵を切りました。2026年には、私たちが長年慣れ親しんだ「蛍光灯」が市場から姿を消し始めます。すでに設置されている蛍光灯の使用は禁止されませんが、球切れの際の交換品が入手困難になります。オフィスの照明プランをLEDへ早期に切り替えることは、単なる節電ではなく、BCP（事業継続計画）の一環となります。

TOPICS

■ 4月

改正「GX推進法」の施行と排出量取引の義務化

日本国内でも、2026年4月から脱炭素への取り組みが企業の財務に直結する仕組みが本格化します。改正「脱炭素成長型経済構造への円滑な移行の推進に関する法律（GX推進法）」が施行されます。

年間10万トン以上のCO₂を排出する大手企業を中心に、「排出量取引（GX-ETS）」への参加が義務化されます。国が決めた排出枠を超えて排出した場合、その分を市場から買い取らなければならない「カーボンプライシング（炭素の価格付け）」が事実上スタートします。義務化の対象は大企業ですが、その取引先である中堅・中小企業に対しても、排出量データの正確な算出（Scope3対応）と削減努力がこれまで以上に強く求められるようになります。「環境対応ができない企業はサプライチェーンから外れる」というリスクが現実味を帯びてきます。

■ 7月

EU「エコデザイン規則（ESPR）」：売れ残り製品の廃棄禁止

欧州連合（EU）では、大量生産・大量廃棄のビジネスモデルを法的に禁止する動きが強まります。持続可能な製品のためのエコデザイン規則（ESPR）に基づき、大手企業による売れ残った衣類、靴、アクセサリーの廃棄が禁止されます。企業は売れ残りをどう処理したか（寄付、リサイクルなど）を毎年報告する義務を負います。また、製品にICタグなどを付け、製造から廃棄までの情報を追跡できる「デジタル製品パスポート（DPP）」の導入準備も同時に進められます。この規制は将来的にアパレル以外（家電、家具など）にも拡大される予定です。「作って売る」だけでなく「最後まで責任を持つ」設計が、グローバルビジネスの最低条件となります。

TOPICS

■10月

生物多様性条約「COP17」（アルメニア）

2026年秋、世界は「脱炭素」に続くもう一つの大きな課題である「生物多様性」の議論に集中します。アルメニアで、第17回生物多様性条約締約国会議が開催されます。2030年までに陸と海の30%を保全する「30by30」目標の中間評価が行われます。注目は「ネイチャーポジティブ（自然再興）」の進捗です。ビジネスへの影響：森林保全や水資源の管理など、企業が自社の事業活動がどれだけ自然に依存し、影響を与えているかを可視化する「TNFD（自然関連財務情報開示）」の普及を後押しする場となります。

■11月

気候変動枠組条約「COP31」（トルコ・アンタルヤ）

1年の締めくくりとして、地球温暖化対策の最高意思決定会議が開催されます。第31回国連気候変動枠組条約締約国会議はトルコで開催されます。オーストラリアと太平洋諸国が事実上の共催体制を取る異例のCOPとなります。各国は2035年に向けた新しい温室効果ガス削減目標（NDC）を提出する義務があります。この会議での合意事項は、2027年以降の各国の環境規制やエネルギー政策の指針となります。化石燃料からの脱却スピードや、再エネ・水素エネルギーへの投資加速が議論されます。世界各国の規制が一段と厳しくなることが予想されるため、企業の長期ビジョンをアップデートする上で欠かせない情報源となります。

2026年のトピックスを見て分かる通り、環境対策はもはや「善意」ではなく「法遵守（コンプライアンス）」そのものです。私たちにできることは、これらの新しいルールを正しく理解し、日々の業務の中で「環境負荷を数値化する」「無駄な資源消費を法律の観点から見直す」といった一歩を踏み出すことです。世界の変化を敏感に察知し、持続可能な企業として共に成長していきましょう。

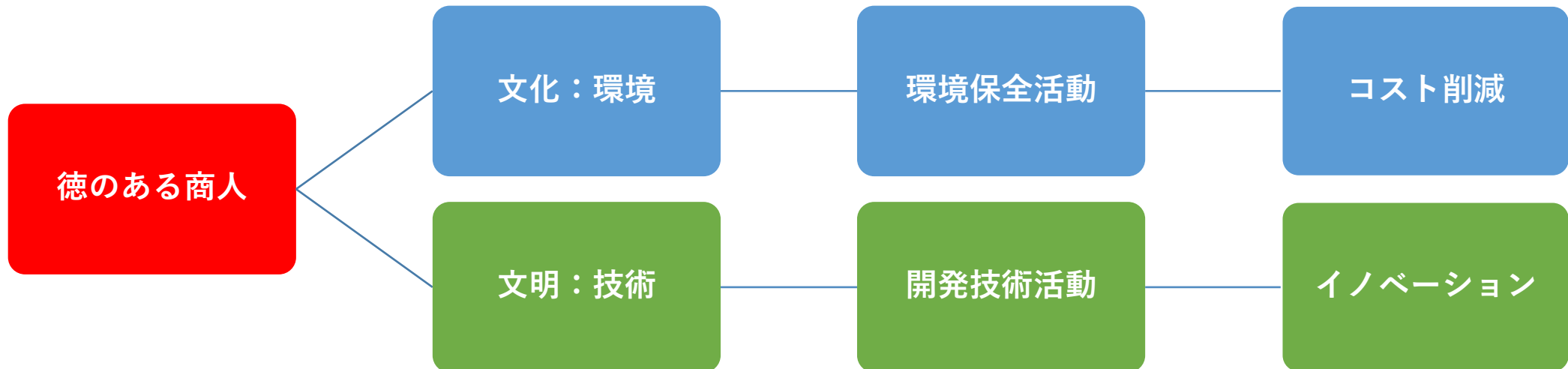
サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

＊サンシングループ経営理念

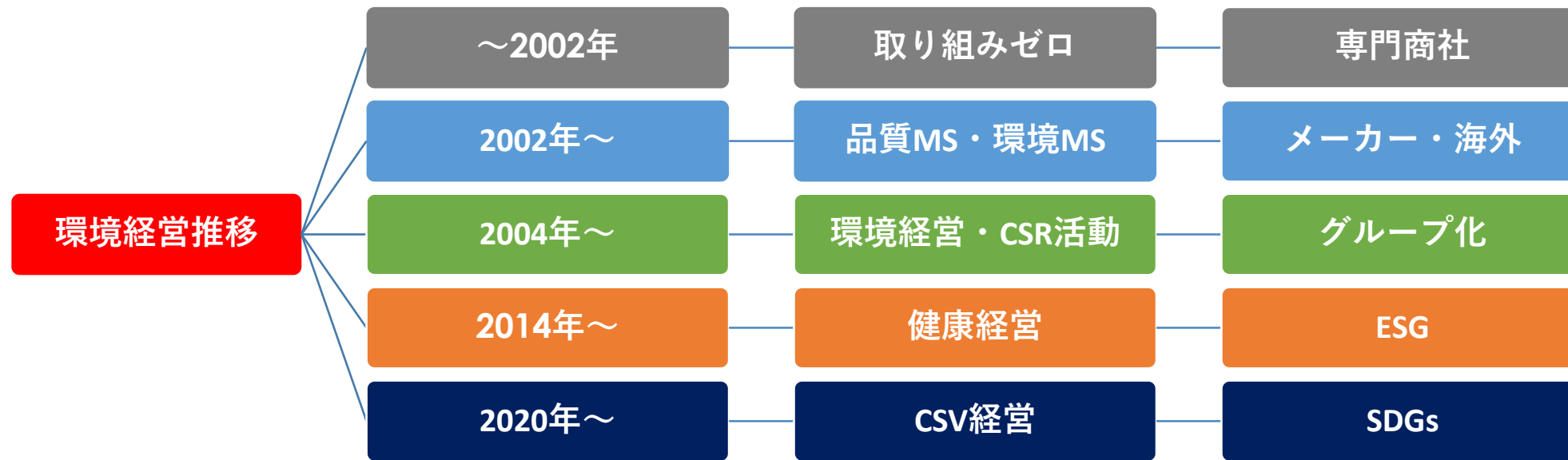
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の文化・文明発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識.

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで環境MSを整備.

2004年～

グループ企業体の発足に伴い経営理念を創設. CSRを能動的に展開.

2014年～

健康経営を標ぼう，以後，東京都認定.

2020年～

CSV経営を宣言，ESGとSDGsを重視.

3. コスト削減実績

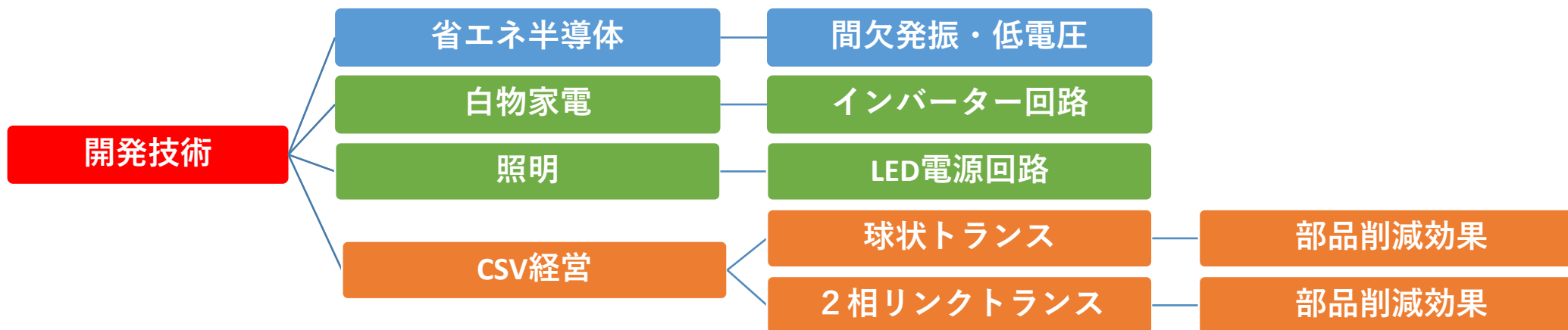
- **紙/ゴミ/電気**，三種の神器，徹底削減の継続
- **テレワーク**による電気/交通費削減
- 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
- 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
- コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント

⇒グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！

※2004年度対比

4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

環境とイノベーションを結び付けた技術開発

CSV経営 モノ×コト＝価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配送
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

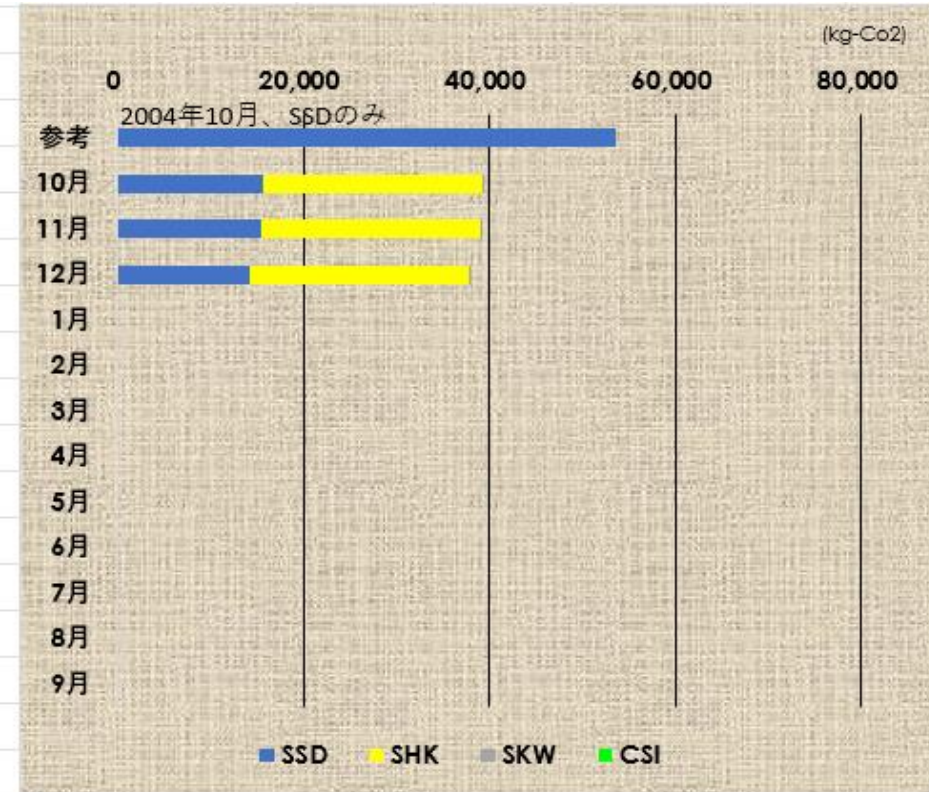
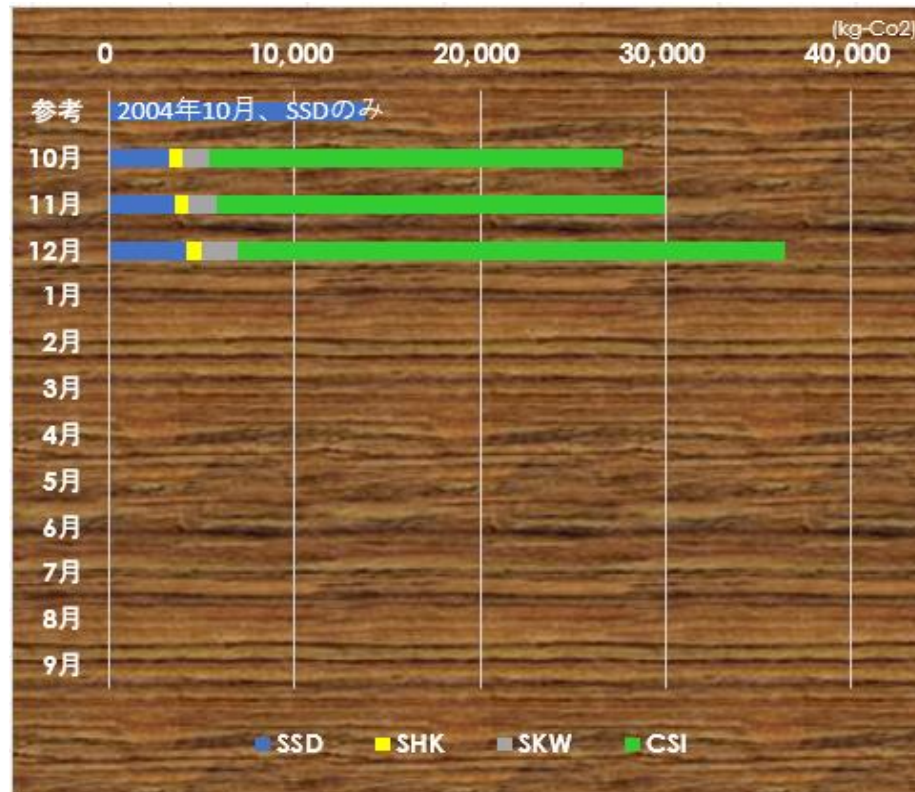
6. まとめ

- ・ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- ・事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- ・環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- ・サンシンググループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組めます！

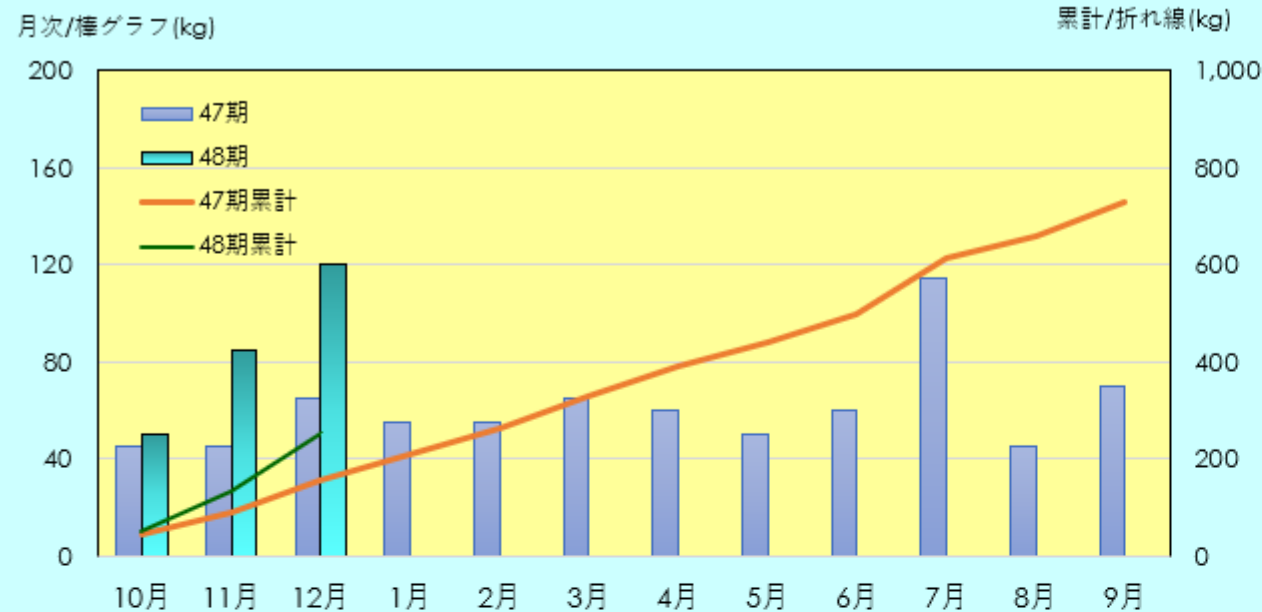
SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

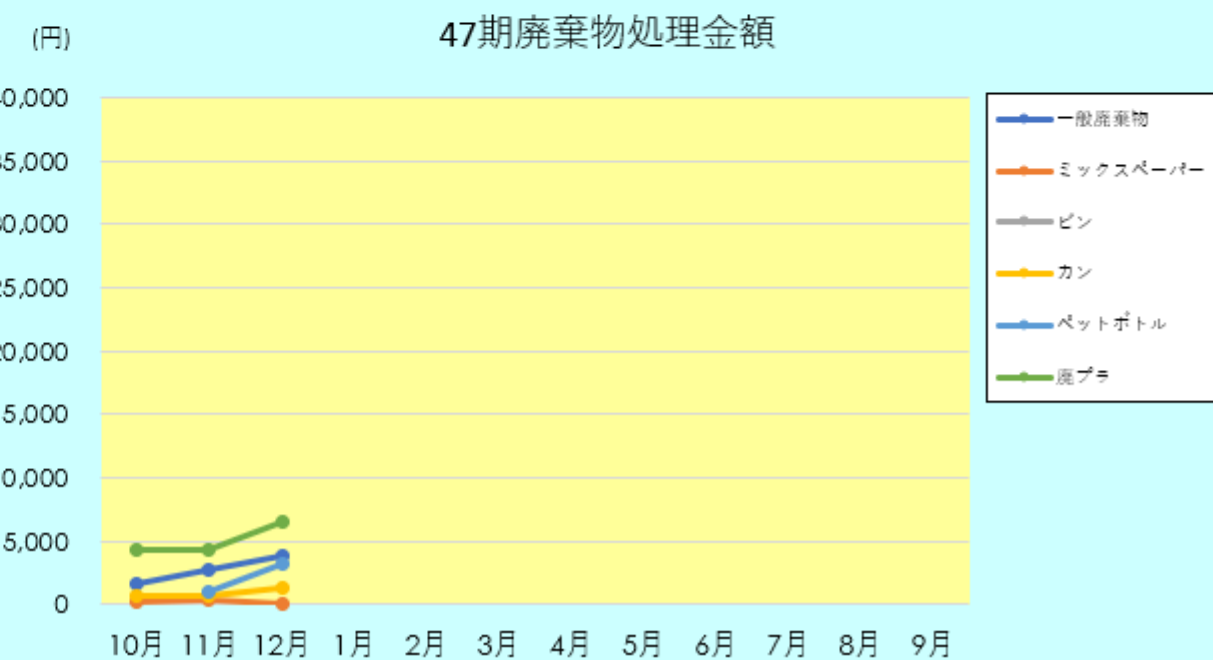
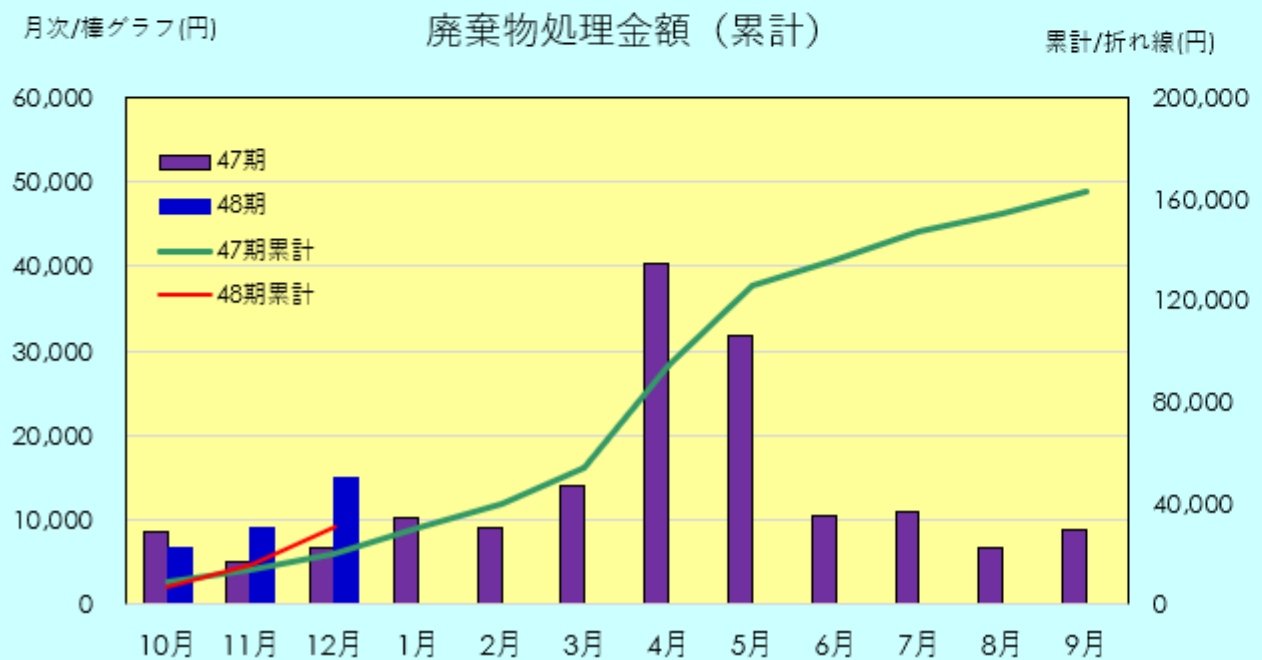
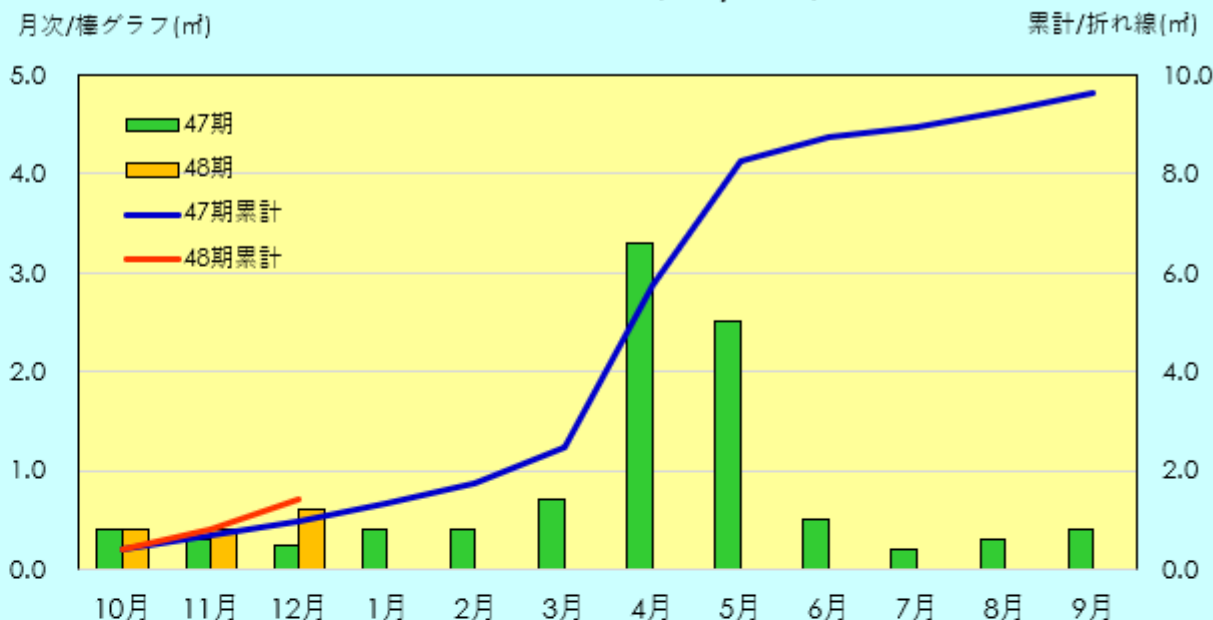
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



一般廃棄物（SSD/本社）



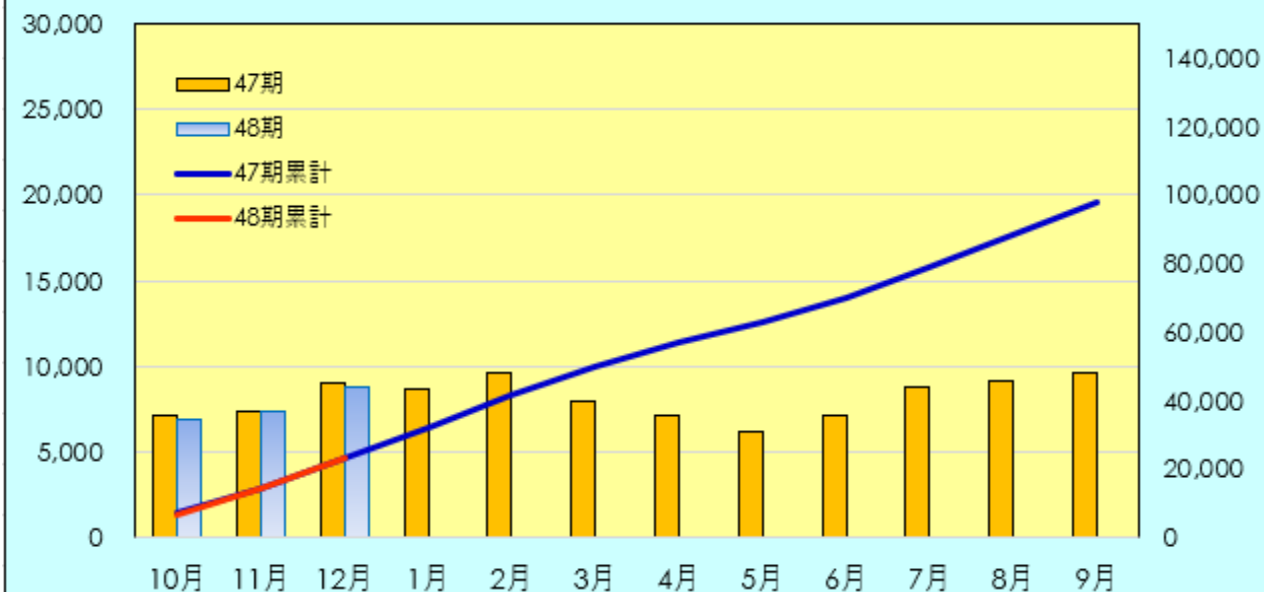
一般産業廃棄物（SSD/本社）



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ (kwh)

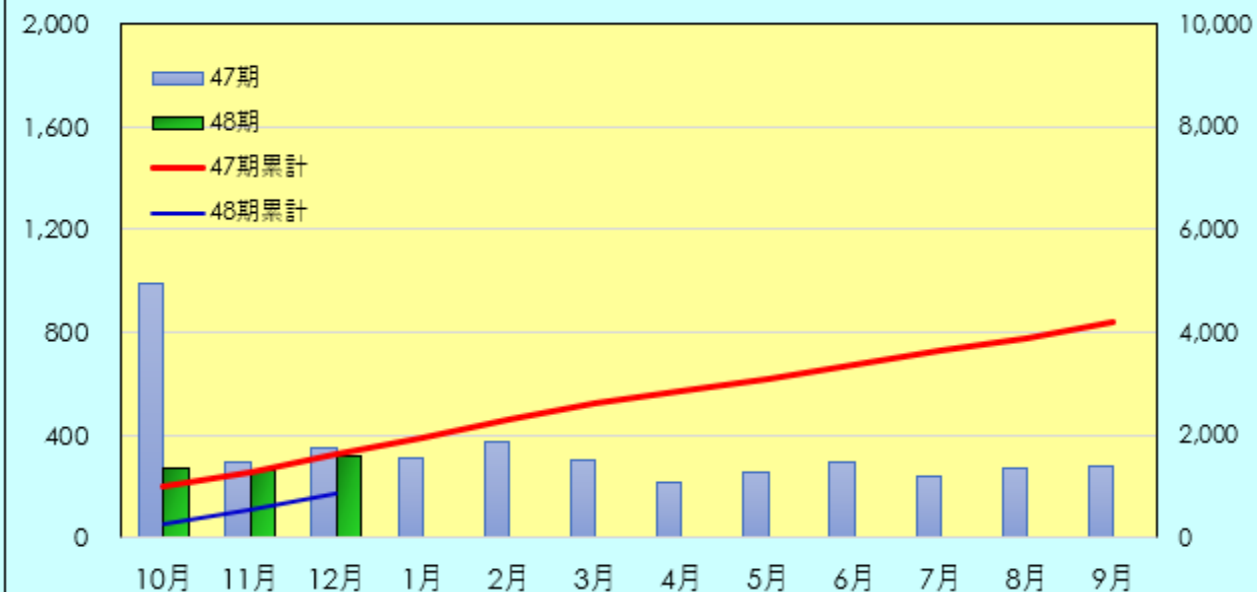
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ (kwh)

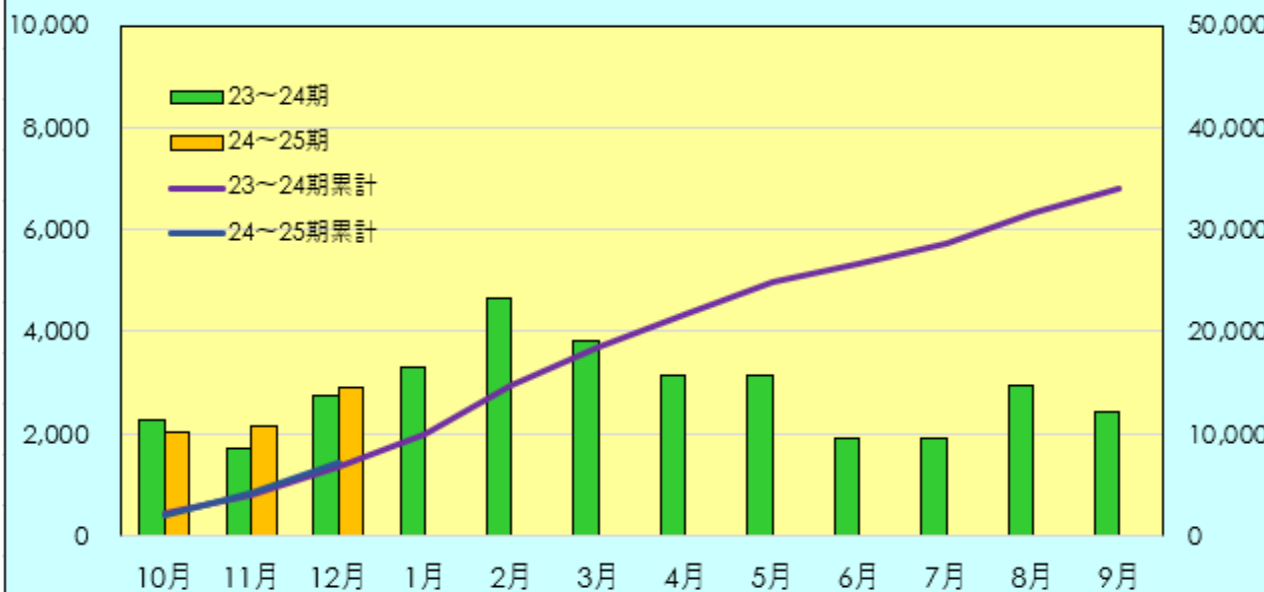
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ (kwh)

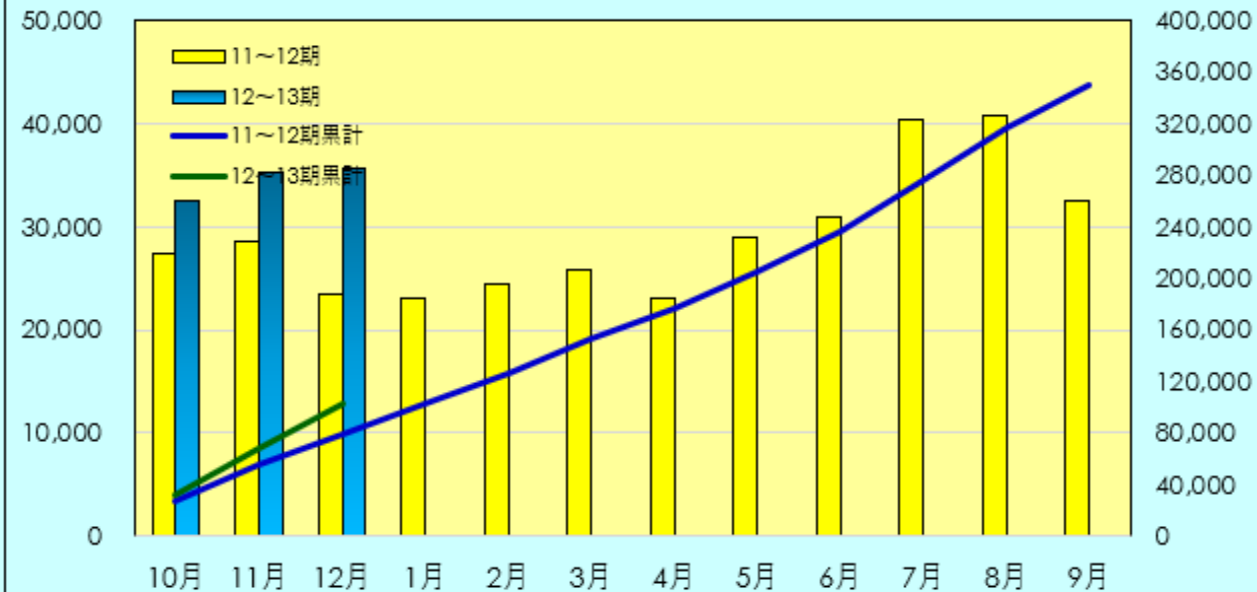
累計/棒折れ線 (kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ (kwh)

累計/棒折れ線 (kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

●「ID中計プロジェクト最終報告会」開催

2025年12月26日、「ID中計プロジェクト 最終報告会」を開催しました！本プロジェクトは、若手社員が主体となり、10年先を見据えた中期経営計画や新規事業の検討に挑戦する取り組みとして、2025年3月に発足しました。「ID」はIdeaとDreamの頭文字を取ったもので、若手ならではの柔軟な発想を大切に、アイデアと夢を持って様々な新規事業を検討してきました。アイデアを実現するためには、収益性や投資回収を見据えた事業計画が必要です。若手メンバーは、慣れない事業計画の策定に試行錯誤しながらも真剣に取り組み、最終報告会では、自らの想いを込めた事業計画を堂々と発表していました。その姿からは、将来のサンシングループを担う人材としての成長が感じられました。

サンシングループでは、EVP（従業員価値提案）の一環として、社員が経営に参画し、考え、挑戦できる機会づくりを積極的に行っています。社員一人ひとりの成長を通して会社が一步上へ成長できるよう、取り組みを継続してまいります。



地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（12月参加人数：延べ3名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設

